

- 137号 特集：学生の見た新潟大学
- 138号 特集：国際交流
- 139号 特集：卒業
- 140号 特集：新潟大学学長インタビュー

バックナンバーが欲しい方は、事務局の学生部学生課まで受け取りに来て下さい。

募集!

新大広報の制作に 参加しませんか

自分で投稿した記事や写真がどのようにしてできるか。あるいは、新大広報の編集会議に参加して、新大広報の制作に参加しませんか。

また、新大広報では、部・サークル活動の紹介、発表会の案内、授業で作成した作品の紹介など掲載を希望する記事を募集しています。

問い合わせ先：学生課（262-7330）
または各学部の広報委員まで。



新大広報 140号より



キャンパス植物歳時記

新大の大きな樹①

ユリノキ（別名ハンテンボク）
（学名 *Liriodendron tulipifer* a.l.）

農学部の中庭（嵐丘庭）に5階を越えて屋上にまで達しているユリノキが並んでいる。その高さは18mを超えている。名前の由来はその花の形がユリに似ているところからきている。学名も花の形をチューリップに見立てたものだ。別名のハンテンボクの葉の形が由来らしい。アメリカの東海岸に沿った落葉広葉樹林が本来の生育地である。アパラチア山脈の麓には40mを超えるユリノキの林がみられる。新大のユリノキはどれくらいの高さまで成長するだろうか。紙谷智彦（農学部）

アメリカの東海岸に沿った落葉広葉樹林が本来の生育地である。アパラチア山脈の麓には40mを超えるユリノキの林がみられる。新大のユリノキはどれくらいの高さまで成長するだろうか。紙谷智彦（農学部）

編集後記

学生のための大学広報誌として、求められている情報を提供できたでしょうか？また、特集「総合大学としての新潟大学の魅力」のメッセージは伝わったでしょうか？昨年、はじめて編集委員会に学生委員が参画し、新大広報の充実が図られました。これからも学生の皆さんの編集委員会への参加を大いに期待しております。

（編集担当：谷口正之）

学生の立場に立ち、読む側にとって魅力的な言葉と表現を考えると日本語の難しさや味を改めて感じられた。編集に責任を持つということは読む側に誤解をまねく言葉をさけること、投稿者の意を素直に誌面にあらわすことは面白い役割でもあった。

教員中心の編集から学生参加型に移行することでますます充実した広報誌になることを期待したい。

（編集担当：藤野邦夫）

21世紀最初の新大広報をお届けします。「総合大学」としての新潟大学の魅力や、各学部、大学院の学生さん達から語ってもらいました。「自由」「出会い」「語り合い」など、同じことを考えている人が多いのにびっくりしました。みんなでもっと魅力ある新潟大学を目指して頑張りましょう。

（編集担当：山内春夫）

広報委員会第1部会

部会長	仙石 正和（学長特別補佐）	Tel 262-6751	sengoku@ie.
編集委員長	寺田 員人（歯学部）	Tel 227-2975	tera@dent.
委員	井山 弘幸（人文学部）	Tel 262-6573	
	石坂 妙子（教育人間科学部）	Tel 262-7116	ishizaka@ed.
	谷 喬夫（法学部）	Tel 262-6493	
	濱田 弘潤（経済学部）	Tel 262-6538	khamada@econ.
	石田 昭男（理学部）	Tel 262-6145	ishida@sc.
	山内 春夫（医学部）	Tel 227-2141	daba@med.
	川瀬 知之（歯学部）	Tel 227-2845	kawase@dent.
	谷口 正之（工学部）	Tel 262-6716	mtanig@eng.
	青柳 育（農学部）	Tel 262-6626	qingliu@agr.
	藤野 邦夫（医療技術短期大学部）	Tel 227-2362	fujino@clg.

事務局（学生部） Tel 262-7330 Fax 262-7515 gakusei@adm.

（E-mailのアドレスは、niigata-u.ac.jpの標記を省略しています。）

この広報は再生紙を使用しています。